

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年6月10日記入

基本目標	Ⅱ ▼ ゆとりある みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	24310
政策名 (章)	第4章 美しいまちなみと良好な居住環境を創造します	評価担当課	環境保全部 ▼
基本施策名 (節名)	第3節 身近な生活圏のみどり・公園の整備		公園課
施策名	身近な公園の整備	課長名	小林邦雄

1 施策の概要・目的

うるおいや安らぎのある生活空間を形成するため、誰もが気軽に自然に親しめる身近な公園の整備を進める。

2 施策の現状

街区公園は、平成14年度末で388箇所・32.89haが設置されている。平成14年度には、14箇所・0.89haが開設された。街区公園の再整備は、12年度以降整備が必要とされた16公園のうち、整備済みは1公園である。道路整備の残地等を利用したポケットパークは、年1か所のペースで整備されている。街区公園の整備・再整備計画には、ワークショップにより市民意見を反映している。管理については、15年度から、委託に代わり街美化アダプト制度による自主的な管理がスタートした。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

404,389 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

656 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **57** 番目です。

(4) 施策に要している人員

2.41 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	街区公園の設置数(開発による提供公園を除く) (前期実施計画期間中)	計画箇所数に対する達成度合を示す。	7 箇所 単位	0 50 100	50.0%	H14
			14 箇所 単位			達成度
指標2	ポケットパークの設置数 (前期実施計画期間中)	計画箇所数に対する達成度合を示す。	4 箇所 単位	0 50 100	10.0%	H14
			40 箇所 単位			達成度
指標3	1街区公園当たりの維持管理経費の削減率 対前年度1公園当たり維持管理費削減額/前年度1公園当たり維持管理費	維持管理の効率性が高まっているかを示す。	7.2 % 単位	0 50 100	144.0%	H14
			5 % 単位			達成度

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

歩いて行ける身近な公園に対する市民需要は、特に高い。幼児を持つ世代にこの傾向が顕著だが、高齢化が進むにつれ、身近な休養・散策の場、憩いの場としての需要は、今後、さらに高まるものと考えられる。

6 有効性…期待される効果があがっているか

良好な居住環境創造の上で、効果を発揮している。ワークショップによる計画作りにより、地域の意見が反映され、親しみの持たれる公園として整備されている。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

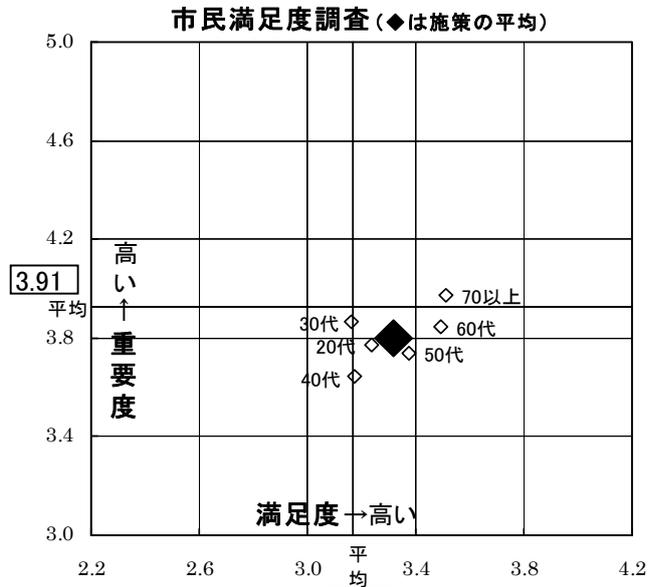
大規模公園に比べ整備単価は高いが、日常の利用度合から言えば妥当である。1公園当たりの維持管理費は年々減少している。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

- ◆この施策の満足度は、3.321で、調査した51施策の中で10番目です。
- ◆この施策の重要度は、3.798で、調査した51施策の中で31番目です。
- ◆この施策の改善要望度は、0.337で、調査した51施策の中で38番目です。

◇年齢別にみると、満足度は60歳代以上で高く、30歳代及び40歳代で低くなっています。重要度は70歳以上で最も高くなっていますが、30歳代でも高くなっています。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)



9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

厳しい財政事情により、新規用地の取得が難しいことに加え、用地取得済みの公園予定地においても整備がままならない状況にある。このため、整備内容を見直すことにより、取得済み用地を、早期に公園として供用することが課題である。
また、公園数が増えるに従い、公園管理についての要望・苦情等が、増加しており、効率的に対処することが必要となっている。

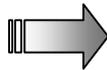
10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向

拡充する

現状維持する

見直し



説明及び具体的内容

厳しい財政状況に照らし、候補地の整備優先度や公園ごとの整備内容を精査しながら、未配置地区への設置を着実に推進していく。
既に用地が確保されている公園予定地については、当面の整備内容は簡易でも、より早期に市民の利用に供することをめざす。
また、維持管理については、街美化アダプト制度(里親制度)を活用し、市民参加による取り組みを推進していく。

11 2次評価

説明

A

B

C

12 外部意見

説明

厳しい経済情勢の下、市民の参画により配置計画を勘案しながら、整備を行うべきである。

